

第3回 大学提携授業

「地域社会に参加しよう！」 ～「たのしさ」も「しんどさ」も分かちあって～」

講師 梅花女子大学 文化表現学部情報メディア科 玉置 好徳 准教授

2014.12.17

寒風吹きすさぶ厳寒にもかかわらず、1,2期生の全学科のみなさんが梅花女子大学「澤山記念館講堂」にて玉置好徳先生の「地域社会に参加しよう！」の講義を受けました。

講義後の玉置先生から『講演中、受講生の皆様方が熱心に聴いてくださる様子を見て、むしろ当方が引き込まれていった感がございました。また、終了後に感想やご質問など多数頂戴いたしました。とても楽しい講演でした』というメッセージをいただきました。

ONCC受講生「今日のひと言」抜粋

- 「地域社会に参加して」人生の本番を密になる時間になるよう過ごしたいと思いました。
- 「自助には限界がある、公助は制約が伴う。共助を考える必要がある」その通りだと思う。
- ボランティアは大上段に構えず周囲とのかかわりの中で、自分が何かのやくにたったと思えばよいとのこと。ボランティアを慈善と想っていた自分が間違っていたな。
- ONCCで1年間学んだことを今後どう生かすかという視点が必要だと改めて思った。
- ONCCでの2年間、その後どうするか？勉強したことをどう生かすか！生かせるか！
- 地域づくりは「ご近所づきあいに始まり、ご近所づくりに尽きる」という言葉を心にとめて、今日から気を付けたいと思いました。
- 情けは人の為ならず・・・日常生活の中から自分でもできることからやっいていこうと思います。
- 「老・病・死」は他人事ではない。日頃から少しずつ考えておく必要がある。今まで学んだことを地域社会に還元する必要がある。
- 自分に余熱があるか？と問いかけてみた。余熱なし！！いかに余熱を持つか考えてみることにする。
- 助け合う 気持ちが支える ボランティア



